



2025年1月15日

各位

株式会社セブン - イレブン・ジャパン
株式会社イトーヨーカ堂
三井不動産レジデンシャル株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社吉川油脂
株式会社野村事務所
ENEOS株式会社

**業界の垣根を越えた連携体制を構築
家庭系廃食用油を活用した SAF 導入推進に向けたサプライチェーン構築事業実施について**

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（以下、セブン - イレブン・ジャパン）、株式会社イトーヨーカ堂（以下、イトーヨーカ堂）、三井不動産レジデンシャル株式会社（以下、三井不動産レジデンシャル）、株式会社三井住友銀行（以下、三井住友銀行）、株式会社吉川油脂（以下、吉川油脂）、株式会社野村事務所（以下、野村事務所）およびENEOS株式会社（以下、ENEOS）の7社は、1月15日から千葉県内のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの店舗、さらに大規模分譲マンション（居住区）を拠点として、家庭系廃食用油の回収と SAF 導入推進に向けたサプライチェーン構築事業（以下、本事業）を共同で実施しますので、お知らせいたします。

本事業は、千葉県総合企画部が公募した「千葉の地域資源を生かした SAF 導入促進事業」に対し、7社による連携スキームの提案が採択されたもので、そのうち、コンビニエンスストア、居住区における家庭系廃食用油の SAF 向けサプライチェーン構築に向けた自治体との実証事業は本邦初の取組みとなります。

廃食用油は、バイオ燃料（SAF やバイオディーゼル）などの原料として活用できる貴重な資源ですが、現在日本国内では年間約 10 万トンの家庭系廃食用油が発生しており、そのほとんどが再利用されずに可燃ごみとして廃棄されています。

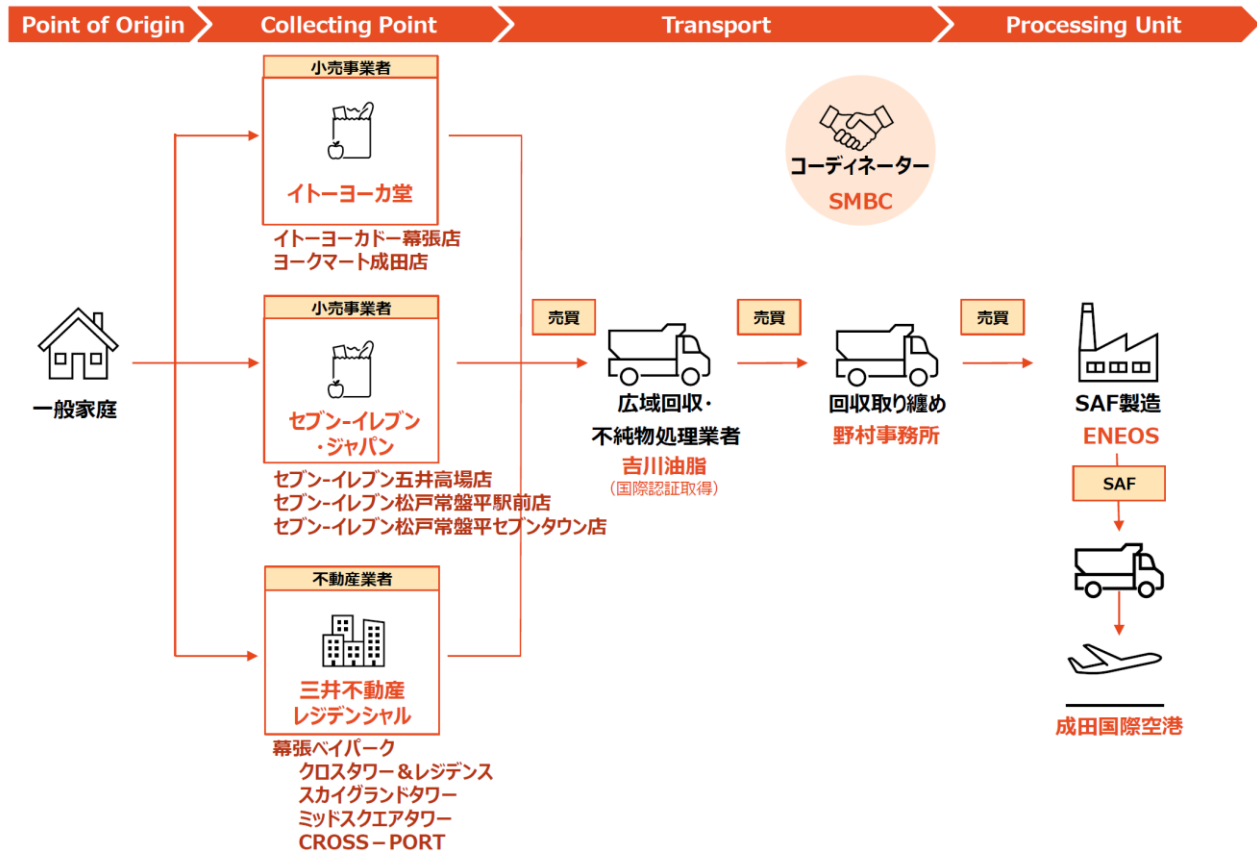
本事業では、資源循環（いま捨てられている資源（家庭系廃食用油）を少しでも活用する）、地域貢献（成田国際空港をアジアのハブ空港として国際社会にアピールする）、将来世代（将来世代に住みやすい地球を残すために、各社の知見を集結し、チャレンジすること）を理念として掲げています。具体的には、千葉県内のセブン - イレブン、イトーヨーカドー、ヨークマート店舗および三井不動産レジデンシャルが分譲した大規模マンションで家庭系廃食用油を回収します。まずはバイオディーゼル燃料製造などへの活用をすすめ、将来的には、この集めた廃食用油を原料として ENEOS が SAF を製造し、成田国際空港に供給するまでのサプライチェーン構築を目指す実証事業です。

今後7社は、千葉県の支援を得ながら家庭系廃食用油の資源循環モデルを構築し、SAF 導入推進に向けたサプライチェーン構築の実現を目指してまいります。

【事業概要】

事業名	家庭系廃食用油を活用した、SAF 導入推進に向けたサプライチェーン構築事業
事業主体	セブン - イレブン・ジャパン
事業 共同実施者	イトーヨーカ堂 三井不動産レジデンシャル 三井住友銀行 吉川油脂 野村事務所 ENEOS
事業内容	千葉県内で、現在捨てられている家庭系廃食用油を店舗及び大規模分譲マンションで回収する 上記、家庭系廃食用油を運搬し、SAF 製造業者に引き渡す 千葉県における家庭系廃食用油の循環資源モデル構築及び SAF の導入推進による成田国際空港の競争力強化を通じた地域貢献に向けた広報及び普及啓発活動
各社の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・セブン - イレブン・ジャパン 店舗での家庭からの廃食用油回収 ・イトーヨーカ堂 店舗での家庭からの廃食用油回収 ・三井不動産レジデンシャル 「幕張ベイパーク」内大規模分譲マンションでの居住者からの廃食用油回収 ・三井住友銀行 プロジェクトコーディネート ・吉川油脂 廃食用油回収、運搬、リサイクル、ENEOSへの引渡し ・野村事務所 廃食用油の回収取り纏め ・ENEOS 回収された廃食用油から SAF を製造（2027 年以降） 回収された廃食用油の海外への販売・海外からの SAF 輸入

実施体制フロー



参考：千葉県ホームページ

[＜千葉の地域資源を生かした SAF 導入促進事業補助金 採択結果＞](#)

以上